

## 【樹木・草花の部屋】

### シラン（ラン科シラン属 Bletilla striata）

**和名**；シラン（紫蘭） **別名**；ベニラン、シケイ **英名**；

ラン目 宿根草

**原産地**；日本、台湾、中国

**花言葉**；あなたを忘れない、お互い忘れないように、変わらぬ愛、薄れゆく愛

**花の色**；青紫、白、桃



⇒ 写真－1 シラン

撮影日：2004年5月1日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

撮影者：Mさん

写真のシランは我が家の庭隅に植生しているもので、最初はこじんまりと数株？(数本が正しいのかも)を植えたものが、偽球茎が次から次に広がり、結構な面積を占めるようになりました。数年に一度は根切りをして広がりを抑えています。

写真－2 シランの花（アップ）

⇒

撮影日：2010年5月16日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

撮影者：Mさん



## 【樹木・草花の部屋】

<ちょっと一言>

野生のシランは準絶滅危惧種。しかし栽培品として広く普及しているため、種子が飛散して栽培逸出することもあり、野生状態のものも本来の自生个体かどうか判別は難しいそうです。

春になると、地下に連ねた扁平な地下球（偽球茎）からササのような葉茎を伸ばし、先端に赤紫色の華麗な花を咲かせます。晩秋には葉を落とし休眠します。結実するとタネを飛ばし、気づかぬうちに庭のあちらこちらから小苗が発芽していることがよくあります。

偽球茎は白及（びやくきゅう）と呼ばれ、漢方薬として止血や痛み止め、慢性胃炎に用いられるそうです。

シランの品種には観賞用に、花の色が白色のもの、斑入りのもの、淡色花、花弁が唇弁化した「三蝶咲き」などがあるそうです。